

実験

布の種類や落とし方によって、汚れの落ち方は違うだろうか。比較しよう。
布の状態には、どんな変化があったかも観察しよう。

- 準備**
- 洗剤液……水 1 L に合成洗剤(中性)を使用量の溶かしたもの
 - 試験布
 - しょうゆ、ラー油
 - 洗いおけ
 - 筒状の容器
 - 染みぬき棒(歯ブラシ、綿棒でも可)
 - タオル

手順

A つまみ洗い	B 容器に入れて振る	C 染みぬき棒でたたく
① 布にスポイトでしょうゆ(またはラー油)を1滴落とし、汚れをつける。 ※ 1枚は事前に汚れを付けて1週間置いておく。		
② 汚れの部分に洗剤液をつけ、手をつまんでもむ。 ③ 洗いおけの水ですすぐ。 ④ 軽く絞って広げ、汚れの落ち方を比較する。	② 2つの容器それぞれに洗剤液 50ml と汚れを付けた布を1枚入れ、3分間左右に回転させる。 ③ ②の洗剤液を捨て、軽く絞る。 ④ 容器を軽くすすいで、それぞれに水を50ml と③の布を入れ、3分間左右に回転させる。 ④ 布を取り出し、軽く絞って広げ、汚れの落ち方を比較する。	② 試験布の染みの付いている面を下にして、タオルの上に置く。 ③ 染みぬき棒に洗剤液を付けて、汚れの裏側からたたく。 ④ 汚れが下のタオルに移るので、場所をずらしながら、汚れをたたく。 ⑤ タオルに汚れが移ったら、染みぬき棒に水をつけて、③④の操作を繰り返す。 ⑥ 汚れの落ち方を比較する。



服にしょうゆやラー油、洗剤液をかけないように注意する。
目や口に洗剤液が入らないように注意する。入った場合は、すぐに水で洗う。

結果

	汚れ()	綿		毛		ポリエステル	
		時間経過	付着後すぐ	時間経過	付着後すぐ	時間経過	付着後すぐ
A つまみ洗い	①汚れの部分に洗剤液をつけ、手をつまんでもむ。 ②水ですすぐ。 						
B 振容器に入れて	①洗剤液入りの容器に布を入れ、3分間振る。 ②洗剤液を捨て、水を入れて3分間振る。 						
C で染みぬき棒	①洗剤液をしみ抜き棒に付けて汚れの裏からたたき、下に敷いたタオルに汚れを移す。 ②水を付けてたたく。 						

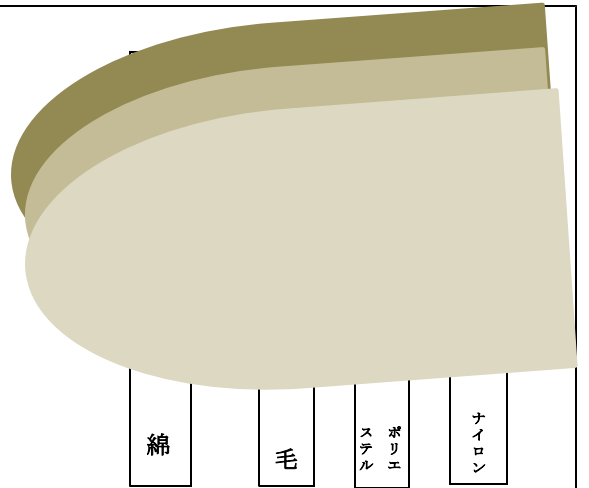
実験

アイロンをかける温度によって、布はどんな影響を受けるだろうか。
また、繊維の種類によって、違いはあるだろうか。

- 準備** アイロン アイロン台
 試験布(幅約1.5cm×長さ約10cm)

手順

- ① 布を幅約1.5cm×長さ約10cmに切り、布端に繊維名を書く。
- ② 試験布をアイロン台に並べ、布の端から6cm位を残してアイロンを低温(約100℃)にして5秒間当てる。
- ③ アイロンを中温(約150℃)にし、②よりも2cm位ずらし5秒間当てる。
- ④ アイロンを高温(約200℃)にし、②よりも2cm位ずらし5秒間当てる。
- ⑤ 試験布を比較する。



※ アイロンの温度を上げるごとに、位置をずらしながら当てる。



アイロンを使用するときには
側を離れない。立てて置く。アイロンを持っていない方の手の位置に注意する。
使用後は電源を切る。

結果

	綿	毛	ポリエステル	ナイロン	
低温 100℃ 5秒					
中温 150℃ 5秒					
高温 200℃ 5秒					

観察

衣服についている汚れを観察しよう。
 ブラシをかける前と後とは、どのように違おうか。

準備 制服 セロハンテープ ブラシ

手順

- ① 制服を観察し、汚れがどこにどんな汚れが付いているか、観察しよう。
- ② セロハンテープを7cm位の長さに切る。なるべく指紋を付けないように端を持つ。
- ③ 制服にセロハンテープを貼り付け、静かにはがす。
- ④ セロハンテープは端を1cm位残して半分に折り、ワークシートに端を貼り付ける。
- ⑤ 洋服にブラシをかけ、③の近くの場所にセロハンテープをもう一度貼る。
- ⑥ ③と⑤を観察し、比較する。

結果

どこに、どんな汚れがついていたでしょうか。



	場所 ()	気づき
ブラシ かけ 前	セロテープを折って貼り付ける	
ブラシ かけ 後	セロテープを折って貼り付ける	